

観察の眼「丸山湿原自然観察会」

No.1

《西谷の森公園》

実施日：2020年9月11日(金) 天候：曇り時々雨

1班 山口千恵子



クリ(ブナ科) 実が大きくて糖度が高い
銀寄という品種です。



ヤマボウシ(ミズキ科)



センニンソウ(キンポウゲ科)



イワヨモギ(キク科) 葉は2回羽状深裂 茎の先に円錐花序を出す。



セイヨウノコギリソウ(キク科)



ゲンショウコ(フウロソウ科)



アキノノゲシ(キク科) 昼間開き、夕方しぼむ。



ワルナスビ(ナス科) 茎に鋭い刺がある。



ガガイモ(キョウチクトウ科) 葉は対生

花の内側に白い毛が密生し、白っぽく見える。



アオハダ(モチノキ科) 葉 鋸歯は低くやや鋭い。短枝の先に束生



コバノガマズミ(レンプクソウ科)



ミヤマガマズミ(レンプクソウ科)
葉の表面の光沢が比較的強い。



ボントクタデ(タデ科) 葉は互生



溝に同系色のカエル



オオニシキソウ(トウダイグサ科)



ヘラオモダカ(オモダカ科) 葉の形がへら形



花は花弁が3枚



完全雄しべ: 長くて葯が青紫色
仮雄しべ: 短くて葯が淡紫色



イボクサ(ツユクサ科)



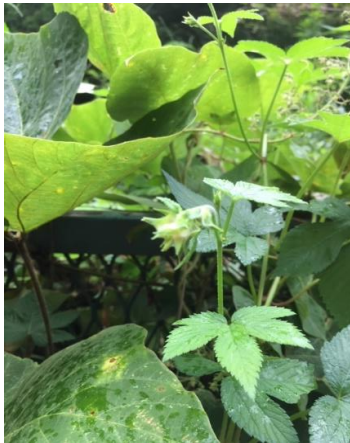
ツリガネニンジン(キキョウ科)
花柱は花冠より突き出る。



ママコノシリヌグイ(タデ科)
葉互生、三角形で先端はとがる。



ガンクビソウ(キク科)



カナムグラ(アサ科)
雌花花序は下向きの穂状花序。



カナムグラ
雄花序は円錐花序で直立。



ツルリンドウ(リンドウ科)



ムカゴニンジン(セリ科)



葉腋にムカゴをつける。



ガンピ(ジンチョウゲ科)
葉は互生。葉の表裏とも有毛。



シラヤマギク(キク科)頭花の舌状花は舌状
花間にすき間があり、清楚な感じ。



ヒナノシャクジョウ(ヒナノシャクジョウ科)
腐生植物。清楚な白い花 (大庭さん撮影)



ツクシハギ(マメ科)
花は全体に白っぽくみえる。



赤い土
鉄分が多く含まれている。



No.4

サワギキョウ(キキョウ科)
上唇は2深裂し細く、下唇3深裂。



キクバヤマボクチ(キク科)
葉は掌状に分裂し、裏面に白い綿毛がある。頭花は直径3.5cmほど。



アブラガヤ(イネ科)



イソノキ(クロウメモドキ科) 葉は光沢あり、コクサギ型葉序。赤い果実もある。



オオウラジロノキ(バラ科)
リンゴ属幹にしばしば棘状の枝が残る。



オオウラジロノキの果実は直径2~3cm 熟すと上半分は赤くなるものが多い。



タンナサワフタギ(ハイノキ科)



イヌツゲ(モチノキ科) 群落



オオミズゴケ

《第一湿原視点場》

No.5



湿原中央部 イヌノハナヒゲ群集

過湿な立地にはヌマガヤ群落◆



★サギソウ(ラン科) 距は長さ3～4cmで垂れ下がる。下見(9/3)撮影



◆ヌマガヤ(イネ科) 中肋(葉の中央の白い線)が飛び出ている。



★ミカヅキグサ(カヤツリグサ科)



★イヌノハナヒゲ
(カヤツリグサ科)



◆サワヒヨドリ(キク科)



★ミミカキグサ(タヌキモ科)
食虫植物。花は黄色。



★ホザキノミミカキグサ
(タヌキモ科)
食虫植物。花は淡紫色。



シロイヌノヒゲ(ホシクサ科)



ハッチョウトンボ

以 上